

2年1組 社会科学習指導案

日 時：平成28年10月12日（水）
場 所：2年1組教室 授業者：宍戸 隆志

1 単元名 欧米進出と日本の開国

2 単元の目標

- (1) 欧米諸国の近代革命や産業革命に興味を持ち、その後のアジア諸国へ大きな影響があったことについて、課題を持って意欲的に追究している。（社会的事象への関心・意欲・態度）
- (2) ヨーロッパのアジア侵略について、その理由や背景を多面的・多角的に考察し、開国の影響とその後の幕府政治の推移について、政治面・経済面・社会面から考察し、公正に判断し、適切に説明している。（社会的な思考・判断・表現）
- (3) 開国の影響とその後の幕府政治の推移について、追究した過程や考察した結果をまとめている。（資料活用の技能）
- (4) 近代国家の要件となる内容や、欧米諸国のアジア侵略の経過のあらし、開国から江戸幕府滅亡までの経過のあらしを理解し、その知識を身につけている。（社会的事象についての知識・理解）

3 単元設定の理由

本単元は、開国から江戸幕府滅亡までの過程を、欧米諸国の動きと関連させて理解させ、開国の影響とその後の幕府政治の推移について、多面的・多角的に考えさせるものである。

生徒たちは、社会科を苦手に行っている生徒が多い。積極的に発言したり、考えたりする生徒がいる一方で、なかなか自分の考えを表現できない生徒も多い。また、発言する生徒も思いつきの内容が多い。

そこで、本単元では自分がその時代に生きていたらどのような選択をするのか、幕府の判断は正しかったのか、どうしてそのような選択にしたのかなどを考えさせ、その後の社会の変化を予想させることで、現在の日本の理解と国際関係について理解を深めていきたい。

4 指導計画（総時数6時間）

- (1) 近代革命の時代・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- (2) 産業革命と欧米諸国・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- (3) ヨーロッパのアジア侵略・・・・・・・・・・・・ 1
- (4) 開国と不平等条約①・・・・・・・・・・・・・・ 1（本時）
- (5) 開国と不平等条約②・・・・・・・・・・・・・・ 1
- (6) 江戸幕府の滅亡・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

5 研究主題・副主題とのかかわり

欧米諸国のアジア進出の動きをふまえた上で、ペリー来航の目的と国内での動きとを総合的に考えさせながら、自分ならどのような対応をするのかを考えさせていきたい。また、自分の意見を構築させるために、当時のそれぞれの立場の人の考えを参考にして、開国・攘夷などの立場についての理解を深めさせ、幕府の対応について、自分なりの考えを持たせていきたい。

ポイント② 学習課題の工夫

「国書に対して、どんな意見を進言するのか？」という、当事者の立場に立って社会事象について考えるような学習課題を設定することで、学習に対する意欲を高める。

ポイント③ 資料選定・活用の工夫

現代訳した国書を提示したり、当時の人々の開国・攘夷など代表的な意見を紹介したりしながら、自分の考えを深めさせる。

ポイント⑤ 振り返りの工夫

自分の考えの変容に気づかせるようにするため、最初の考えや考察の過程を目で見えるように記録させる。

6 本時のねらい

開国の是非について、欧米諸国のアジア進出や日本の社会情勢をふまえて、自分の考えをもつことができる。

7 学習過程

段階	学習活動・内容	時間 形態	○留意点 ◆評価 研究主題とのかかわり
導入	<p>1 本時の学習課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>もしあなたが大名なら，将軍にどのような意見を進言するのか？</p> </div>	5 一斉	<p>○国書の内容について補説するとともに，当時の老中が広く意見を求めたことを紹介し，幕府にとって，大きな問題であったことに気づかせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ポイント② 当時の大名の立場で，将軍にどのような提案するか，考えさせることによって，学習意欲を高める。</p> </div>
展開	<p>2 ペリーがもってきた国書を見て，国書についての自分の考えをまとめ，発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何とかごまかす。 ・仕方がないので開国する。 ・鎖国を守り断る。 <p>3 大名の意見を参考にして，班で進言する内容をまとめる。</p> <p>毛利の意見より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清（中国）のようになる。 ・アメリカに許すと他の国々も同じ要求をしてくる。 ・歴史的に見て，外国と戦って力をつけてきた。 <p>井伊の意見より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状では戦える力はない。 ・年月が経ってから勝てる作戦を。 ・石炭は九州にある。 <p>4 班の意見を発表する。</p>	<p>10 一斉</p> <p>15 班</p> <p>10 一斉</p>	<p>○開国かどうか，自分の考えに近い場所に名前をボードに貼らせ，いろいろな考えがあることに気づかせる。</p> <p>◆既習事項や国書の内容から判断して，自分なりの考えをまとめられたか。 (発表・ワークシート)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ポイント③ 二人の大名の考えの要点を押さえて，補足説明を加えながら，資料を提示する。</p> </div> <p>○ペリー来航までの，世界の動きや日本外交の年表，資料集などをもとに，班の意見をまとめさせる。</p> <p>○根拠をもとにホワイトボードに各班の意見を書かせる。</p> <p>○必要に応じて，他の班に質問したり，や反論をさせたりすることで，考えを深めさせる。</p>
まとめ	<p>5 各班の意見を聞き，自分の最終意見をまとめる。</p>	10 一斉	<p>○自分の考えをまとめさせ，必要に応じて，始めに貼った名前を移動させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ポイント⑤ ワークシートやボードを活用して，可視化することにより，自分の意見がどのように変化したのか確かめることができるようにする。</p> </div> <p>◆開国の是非について，自分の考えをもつことができたか。 (ワークシート)</p>